



テレビを通じて日中の文化交流・理解促進を
BS-TBS『タビフク』と北京テレビ『北京味道』を相互放送

TBS グループは、「アジア映画・テレビウィーク」(5月16日～23日、中国国家ラジオ・テレビ総局主催)の番組交換企画に参加し、BS-TBSの旅番組が5月18日と19日に、中国・北京テレビで放送されました。これに続いて、今度は、BS-TBSで、6月22日と29日に、北京テレビのグルメドキュメンタリー番組を放送します。



今回の「アジア映画・テレビウィーク」では、世界32か国・66の主要テレビメディアの秀作テレビドラマやドキュメンタリーなど100作品以上が中国全土のテレビ局で放送され、番組交換企画にはTBSを含む10のメディアが参加しました。TBSからは、女の子の憧れの旅を実現するBS-TBSの『タビフク+VR・鹿児島編(前後編)』が、北京テレビの青年チャンネルで5月18日と19日の2夜にわたって放送されました。

BS-TBSでは、この番組交換の一環として、6月22日(土)と29日(土)の午前5時から、中国料理の伝統を守り次の世代に伝えようとする人々を追った、北京テレビのグルメドキュメンタリー『北京味道』から、2つのエピソードを放送します。

TBSグループが「アジア映画・テレビウィーク」の番組交換企画に参加するのは、今回が初めてのことで、日中の文化交流と理解促進に積極的に貢献する良い機会になると捉えています。

番組概要:

BS-TBS『タビフク+VR・鹿児島編(前後編)』 出演:藤井サチ・Niki、ナレーション:伊藤千晃
女の子たちの憧れがいっぱい詰まったお洒落女子タビをお届けする『タビフク+VR』より、温暖な気候を活かした独自の文化で知られる鹿児島の旅。桜島を間近に見ながら錦江湾でカヌーを漕いだり、指宿では世界で唯一の天然の砂風呂を体験。旬の食材や郷土料理も紹介する。

北京テレビ『北京味道』シリーズより「食卓の記憶」「名シェフは誰だ？」

北京テレビの生活チャンネルで放送されているグルメドキュメンタリー。中国伝統の料理をどのように守り、後世に伝えようとしているのか。北京の名店のシェフやその弟子たちの奮闘を追った。

北京テレビ:1979年に設立された中国の国营放送局。総合・芸術・教育・ドラマ・国際など12の主要なチャンネルを持つ。首都北京の地域放送局だが、ケーブルを通じて全国で放送されている。

アジア映画・テレビウィーク:中国政府が開催した「アジア文明対話」の一環として、国家ラジオテレビ総局の主催で行われた。テーマは「映画とテレビが橋渡しをして、アジアの文明間の相互理解を促進する」。

問い合わせ先:総合戦略局総合編成部 担当:井上 03-3746-1111(代表)